

皮膚悪性腫瘍における予後予測因子についての検討

今回、京都府立医科大学皮膚科学教室では、皮膚悪性腫瘍の患者さんを対象に病理組織標本の解析に関する臨床研究を実施しております。

実施にあたり京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

研究の目的

皮膚悪性腫瘍は他のがん種と比較するとやや稀な疾患であり、基底細胞癌を除くとすべて希少がんに分類されます。白人に頻度の高い悪性黒色腫は臨床試験が数多く実施され、進行期の治療法が確立されつつありますが、その他の皮膚癌においては進行期の確立された治療法は確立しておらず、しばしば治療に難渋します。そこで我々は、皮膚悪性腫瘍におけるがんの増殖や抑制に関わる因子、免疫に関わる細胞や免疫を制御する因子の発現等を、免疫染色という特殊な方法で明らかにし、顕微鏡を用いて検討することで病気の進み具合や悪性度との相関について検討します。これらを検討することで、悪性度の予測や新しい治療法の解明につながる可能性があります。

研究の方法

・対象となる方について

2000 年 1 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日までの間に、皮膚悪性腫瘍の診療として皮膚生検もしくは外科的切除を受けられた患者様が対象となります。

・研究期間： 医学倫理審査委員会承認後から 2028 年 3 月 31 日

・方法

病理医による病理診断がすでに終了した病理検体や病理プレパラートを使用します。したがって、本研究に参加することによって新しく生検をしない必要はありません。

病理組織切片を用いて、がんの増殖に関わる因子、免疫担当細胞、がん細胞の表面マーカー、HLA、ERAP（小胞体アミノペプチダーゼ）などの発現を、免疫染色を用いて解析します。

・個人情報の取り扱いについて

情報はすべて名前などの個人情報を削除し、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。

研究組織

研究責任者

京都府立医科大学 皮膚科学教室 助教 金丸麻衣

研究担当者

京都府立医科大学 皮膚科学教室 助教 今村真也

京都府立医科大学 皮膚科学教室 大学院生 安村香菜子

京都府立医科大学 皮膚科学教室 専攻医 高橋未有

ご自分、あるいはご家族の情報を本研究に登録したくない場合は、2027 年 12 月 31 日までに下記連絡先までご連絡ください。なお上記までに申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

この研究計画についてご質問がある場合は下記までご連絡ください。

連絡先

京都府立医科大学 皮膚科学教室

助教 金丸麻衣

電話：075-251-5586

受付可能な時間帯：9 時から 17 時